



准教授

猪股 英輔

いのまた えいすけ

作業療法学科

【専門領域】

高齢期の作業療法

認知症高齢者に対する作業療法

地域リハビリテーション

研究・実務の業績

1. 猪股英輔, 野口弘之, 藤本亮一, 太田拓男, 田中智子: 精神障害者の退院支援プログラムにおける作業療法の役割. 作業療法27: 633-643, 2008.
2. 猪股英輔, 小林法一: 要介護高齢者における一人暮らしの工夫-家事に焦点を当てて-. 作業療法33: 230-240, 2014.
3. 猪股英輔, 三浦南海子, 折茂賢一郎, 小林法一: 認知症高齢者の感情機能に着目した小集団プログラムの効果-色カルタ(クオリア・ゲーム)を用いて-. 作業療法33: 451-458, 2014.
4. 猪股英輔, 三浦 晃, 石井利幸, 宮内順子, 渡邊基子, 小林幸治: 介護老人保健施設での在宅復帰支援に生活行為向上マネジメントを用いた早期介入. 作業療法36: 97-104, 2017.

学生へのメッセージ

私の専門領域は、高齢期の作業療法、地域で実践する作業療法です。主に高齢者施設や訪問リハビリテーションの臨床経験と研究で培った知識を伝えていきます。地域の活動では、本人を敬愛してやまない当事者家族や交友関係も重要な要因になります。時には「幸福とは何か」といった、人の生きざまに寄り添うこともあり、人間理解の深い洞察力が求められます。

作業療法士は、医学知識を基礎として、ひとり一人のライフスタイルや行動に合わせた生活支援に取り組む創造的な専門職です。地域で解決しなければならない課題は、子どもから高齢者まで幅広くあり、これからは地域共生社会での作業療法への期待が益々高まっています。

また、卒後教育における作業療法士の人材育成にも興味をもっており、教育と実践の橋渡し役になりたいと思います。最新の臨床現場の知見も一緒に学んでいきましょう。